

2016年度前期  
(2016.5~7)

茨城大学  
図書館の

# 土曜 アカデミー

地域の皆様と、学生たちと、ともに学び楽しむイベント、講座のご案内

すべての事業が  
**無料**です

申し込みも  
**不要**です

**どなたでも**  
ご参加  
いただけます

主催 茨城大学図書館

共催 茨城大学COC統括機構 社会連携センター

後援 茨城大学人文学部市民共創教育研究センター



## 【くるま座】談会 21世紀のサステナビリティ学を語ろう!

- ① [日 時] 2016年5月7日(土) 13時~15時  
[内 容] 「PM2.5やオゾン：広域・越境大気汚染と気候変動」  
新興国で激化する大気汚染と日本への影響、さらに気候変動との関連について紹介し、理解を深め語りあいます。

[話題提供] 北 和之(茨城大学理学部教授)

- ② [日 時] 2016年7月2日(土) 13時~15時  
[内 容] 「有機農業について語ろう!」  
いま、有機農業が地域に広がりつつあります。ここでは、様々な有機農業について紹介し、自然と農業の共生について意見交換します。

[話題提供] 小松崎 将一(茨城大学農学部教授)



[内容] 茨城大学では、21世紀になって生まれたサステナビリティ学(持続可能性学)の諸問題に、地球変動適応科学研究機関(Institute for Global Change Adaptation Science: ICAS)が中心となって取り組んでいます。私たちは、多くの市民がその対話の輪に参加して一緒に取り組むことが不可欠だと考えています。今回の講座は、昨年度に引き続き、2人の専門家がそれぞれ分野の最先端を紹介し、それらについて「くるま座」になって語りあう場を提供します。一緒に大いに語りあいましょう!

[コーディネーター] 伊藤 哲司(ICAS機関長・茨城大学人文学部教授)

[会場] 茨城大学図書館本館1階ラーニングcommons

[後援] 茨城大学地球変動適応科学研究機関(ICAS)

## ブック・カフェ

- ① [日 時] 2016年5月14日(土) 13時~15時  
[テキスト] アーサー・コナン・ドイル「赤毛組合」  
『シャーロック・ホームズの冒険』(創元推理文庫、2010年、972円)など  
名探偵登場です! 「シャーロック・ホームズ」シリーズの他の作品を読んで来られてもかまいません。映画やテレビドラマのファンの方もぜひご参加下さい。

- ② [日 時] 2016年6月18日(土) 13時~15時  
[テキスト] エミール・ゾラ「シャープル氏の貝」  
『オリヴィエ・ベカイユの死/呪われた家 ゾラ傑作短篇集』(光文社古典新訳文庫、2015年、1210円)、  
『水車小屋攻撃 他七編』(岩波文庫、2015年、929円)など  
長編小説「居酒屋」「ナナ」で知られるゾラの作品をとりあげます。「希代のストーリーテラー」と呼ばれるゾラの魅力を味わいましょう。

- ③ [日 時] 2016年7月9日(土) 13時~15時  
[テキスト] カレル・チャペック『ロボット』(岩波文庫、2003年、648円)など  
または、アイザック・アシモフ『われはロボット アシモフのロボット傑作集』(ハヤカワSF文庫、2004年、782円)など  
テーマは「ロボット」です。ロボットという言葉を生み出したチャペックの作品、「ロボット三原則」を考えたアシモフの作品を読み、現在と未来のロボット事情も含めて、語りあいたいと思います。

[ナビゲーター(講師)] 西野 由希子(茨城大学人文学部教授)

[内容] 誰でも聞いたことがある、以前に読んだことのある「名作・古典」を読んで集まり、西野先生のレクチャーを受けながら、グループに分かれて語りあいます。これまでとちがった本の読み方ができ、作品への理解が深まります。「いろいろな世代の人の意見を聞いて楽しかった!」「読んでみてよかった」と好評いただいています。ごいっしょに、本を読む楽しさを味わいましょう!

\*テキストはお持ちのものなど、どの出版社の版でもかまいません。できるだけ、事前に読み、当日その本を持っておいで下さい。お好きな回だけの参加も可能です。

[会場] 茨城大学図書館本館1階ライブラリーカフェ(エントランスホール集合)

[後援] 人文学部西野ゼミ

\*お飲み物代は各自ご負担いただきます。





## COCの公開講座 茨城学への招待

【日時】 2016年5月21日(土) 13時～15時

【講師】 清水 恵美子(茨城大学社会連携センター准教授)

【内容】 「岡倉天心と六角堂と『茶の本』」

「茨城学」は県の歴史・自然・文化・産業などの修学を通じ、地域への理解を深め、多角的に捉える視点を身につける1年次必修科目です。本学と関わりが深く、地域の文化資源である岡倉天心は、「茨城学」で取り上げるテーマのひとつ。岡倉天心が五浦(北茨城市)に建てた六角堂と同時期執筆した『茶の本』を通して、地域と世界とのつながりを考えます。この講義は、9月に茨城大学が開催する「国際岡倉天心シンポジウム」や「観月会」のテーマと連動しています。

【会場】 茨城大学図書館本館1階ラーニングcommons



## 新著を語る

【日時】 2016年6月4日(土) 13時～16時

【著者=講師】 長田 華子(茨城大学人文学部准教授)

【内容】 『990円のジーンズがつくられるのはなぜ?』

著者によるトーク&

「ザ・トゥルー・コストーファストファッション 真の代償」上映会

わたしたちの身の回りには低価格の洋服があふれています。安く、最新の流行を取り入れたファッション、ファストファッションは、わたしたちを魅了します。その一方で、世界の縫製工場といわれるバングラデシュでは、悲惨な事故が絶えません。およそ10年にわたり、バングラデシュの縫製産業とそこで働く女性たちを調査、研究してきた著者が新著について語るとともに、華やかなファッション業界の裏側を描いたドキュメンタリー映画「ザ・トゥルー・コスト」を上映します。低価格の洋服の知られざる世界をご紹介します。

【会場】 茨城大学図書館本館3階ライブラリーホール

【後援】 茨城大学地球変動適応科学研究機関(ICAS) 人文学部長田ゼミ



[日時] 2016年6月18日(土) 13時~14時30分

[講師] 藤原 貞朗(茨城大学五浦美術文化研究所長・人文学部教授)

[内容] 「山下清と昭和の美術」

昭和の時代、「裸の大将」として国民的アイドルとなった貼絵画家・山下清。その作品はどのようにして作られたのか、作品にはどのようなマーケティング戦略があったのか。昭和へのノスタルジーも交えながら、映画やテレビドラマで有名になった虚構の姿とはひと味もふた味も違う、山下清の本当の姿を明らかにしてみたいと思います。

[会場] 茨城大学図書館本館3階ライブラリーホール



## サイエンス・カフェ

[日時] 2016年7月16日(土) 13時~14時30分

[講師] 百武 慶文(茨城大学理学部准教授)

[内容] 「素粒子で感じる宇宙」

最近では、大きな科学成果はネットや新聞ですぐに報道されますから、2012年のヒッグス(らしい)粒子の発見ニュースを記憶している人もいらっしゃるでしょう。日本人のノーベル物理学賞受賞も相次いでいます。素粒子関係では、2002年に小柴氏、2008年に南部氏、小林氏、益川氏、2015年に梶田氏が受賞されました。実は、これらは全て「素粒子の標準模型」に関係するお話なのです。今回は素粒子の世界をわかりやすく解説し、宇宙論との関係についてもお話ししたいと思います。

[会場] 茨城大学図書館本館3階ライブラリーホール



## 古文書寺子屋 はじめの一步

[日時] 2016年7月30日(土) 13時~16時

[講師] 千葉 真由美(茨城大学教育学部准教授)

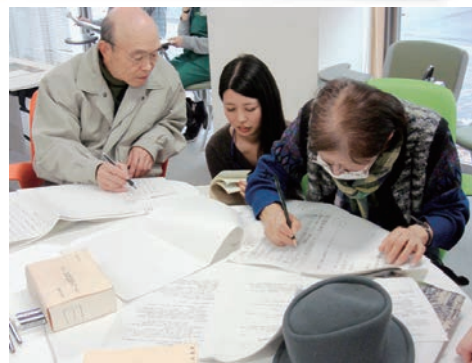
添田 仁(茨城大学人文学部准教授)

木戸 之都子(茨城大学人文学部助手)

[内容] 茨城大学図書館に収められている古文書を読んでみませんか?当講座では、江戸時代の古文書を題材として、“茨城”に生きた人びとのすがたを読み解いていきます。そこには、これまで思ってもみなかった意外なすがたがあるかもしれません。一度も古文書を読んだことがない方、大歓迎です。古文書の「くずし字」を解読するはじめての一步、基礎からじっくり学びましょう。

[会場] 茨城大学図書館本館1階ラーニングcommons

[後援] 教育学部千葉ゼミ 人文学部添田ゼミ 茨城史料ネット



## 館長講座 中世茨城[常陸・北下総]のものふたち

① [日時] 2016年5月7日(土) 15時30分~17時

[内容] 「常陸守護・八田知家とその一族」

常陸守護となる八田知家。彼の出自はどこにあるのか?頼朝の信頼も厚かった鎌倉幕府の重鎮の肖像と、やがて「小田」を称するようになるその子孫の動向を追います。

② [日時] 2016年7月9日(土) 15時30分~17時

[内容] 「源頼政と下河辺氏」

東国に勢力を伸ばしたのは河内源氏だけではない!平安後期の摂津源氏一門の動向と、源頼政を支え、やがて河内源氏の正統・頼朝に仕えることになる下河辺氏の実像に迫ります。

[講師] 高橋 修(茨城大学図書館長・人文学部教授)

[会場] 茨城大学図書館本館3階ライブラリーホール

[後援] 茨城大学中世史研究会



## 茨城大学図書館2016年度前期企画展

### 「高萩市が生んだ江戸時代の地理・地図学者 長久保赤水の世界」

[内容] 長久保赤水(1717-1801)は、「改正日本輿地路程全図」の刊行によって、18世紀の日本を代表する地図製作者として世界的に知られています。日本図の他にも、赤水は世界図、中国図を刊行し、その優れた精度や情報量によって高く評価されています。まさに高萩市が生んだ偉人です。これらの刊行図は様々な漢籍などの文献や地図を考証、この結果をもとに編集・作製されました。このたび御子孫宅から新たに発見された史資料を含め、赤水図作製に関わる地図、漢籍、書簡の数々を紹介いたします。

[会場] 茨城大学図書館本館1階展示室

[会期] 2016年6月18日(土)~7月3日(日)

◎会期中、6月21日(火)・6月28日(火)12時20分~50分、および6月25日(土)・7月2日(土)13時~13時30分に小野寺淳先生(茨城大学教育学部教授)によるギャラリートークが開催されます。

※展示室公開時間 平日10時~16時 土日11時~17時

[主催] 茨城大学図書館

科学研究費「長久保赤水の地図作製プロセスに関する研究」

[後援] 高萩市教育委員会



天明5年「大清廣輿図」 長久保和良家所蔵

## 移動博物館 「いばらきの自然」Ⅱ

**【内容】** ミュージアムパーク茨城県自然博物館の移動博物館は、来館者の方々が自然への興味関心を高め、自然愛護思想の普及を図るとともに、博物館活動への理解を深めることを目的として実施しています。今回の展示では多様で豊かな茨城県の自然について、当館が所有する動物・植物・地学の標本やレプリカなどの資料を用いてご紹介します。茨城県は、緯度的にほぼ日本の中央に位置し、関東平野の北東部に位置しています。県北部には、八溝山地や阿武隈山地に属する山々が連なります。県中央部から南側は平野が広がり、利根川や鬼怒川などの河川と、日本第2位の面積を有する霞ヶ浦などがあり、豊かな水に恵まれています。また太平洋側の総延長190kmにわたる海岸線の地形は、海食崖から岩礁、砂浜と変化に富んでおり、沖合では寒流の親潮と暖流の黒潮がぶつかります。これらの自然をかたちづくっている変化に富んだ大地のようすと、そこに息づくさまざまな動植物をご覧ください。

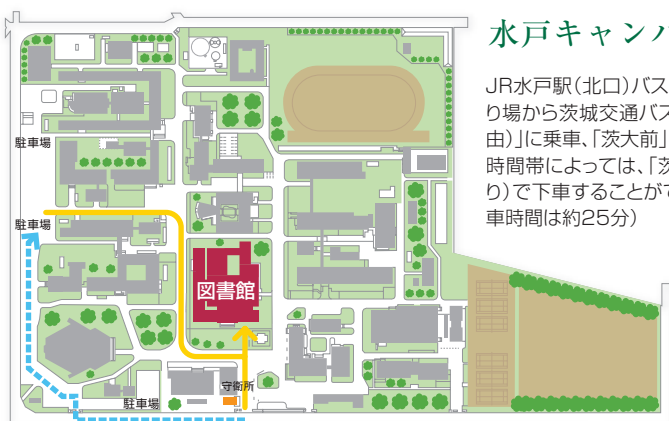


- 【会期】** 2016年7月20日(水)～7月28日(木)  
※展示室公開時間 平日10時～16時 土日11時～17時  
※7月23日(土)はオープンキャンパス開催のため、会場の混雑が予想されます。
- 【会場】** 茨城大学図書館本館1階展示室
- 【主催】** ミュージアムパーク茨城県自然博物館 茨城大学図書館

すべての事業が無料です。申し込みも不要です。  
どなたでもご参加いただけます。

茨城大学図書館本館

〒310-8512 水戸市文京2-1-1 茨城大学水戸キャンパス



### 水戸キャンパス

JR水戸駅(北口)バスターミナル7番乗り場から茨城交通バス「茨大行(栄町経由)」に乗り、「茨大前」で下車。時間帯によっては、「茨大正門前」(最寄り)で下車することができます。(バス乗車時間は約25分)

※車でお越しの際は、守衛所(■)で入校許可証を受け取り、車で矢印(←)の通りに進んだ先の駐車場にお止めください。

問合せ先

茨城大学図書館 TEL 029-228-8076 Mail ser-lib01@ml.ibaraki.ac.jp